

血と骨 (2004)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 144分
初公開日 2004/11/06
公開情報 松竹=ザナドゥー
映倫 R-15

【キャッチコピー】

血は母より、骨は父より受け継ぐ

【解説】

おのれの肉体のみを信じ、動乱の時代を傍若無人に駆け抜けたひとりの朝鮮移民の壮絶な生き様とその家族の姿を力強く描いた人間ドラマ。「月はどっちに出ている」の著者・梁石日が自らの父親をモデルに著わした同名ベストセラー小説を映画化。監督は「クイール」の崔洋一。主演は、自身の監督作以外では久々の映画主演となるビートたけし。共演に「39 刑法第三十九条」の鈴木京香。

1923年、大阪。ある日、濟州島からの出稼ぎ労働者が住まう朝鮮人集落にやって来た少年・金俊平。彼も他の朝鮮移民と同じく日本で一旗揚げることを夢みて渡ってきたが、やがてその強靱な肉体と並外れた凶暴さでのし上がっていき、周囲に恐れられるようになる。その間、幼い娘を抱えながらけなげに生きていた李英姫と結婚し、2人の間に子どもも生まれ、開業した蒲鉾工場も繁盛する俊平。しかしながら俊平の粗暴な振る舞いは修まることはなく、家族でさえエスカレートする彼の暴挙にただ怯えるばかりだった…。

【クレジット】

監督	崔洋一	
製作	若杉正明	
企画	若杉正明	
プロデューサー	榎望	
原作	梁石日	『血と骨』 (幻冬舎文庫 刊)
脚本	崔洋一 鄭義信	
撮影	浜田毅	
美術	磯見俊裕	
衣装デザイン	小川久美子	
編集	奥原好幸	
音楽	岩代太郎	
音楽プロデューサー	佐々木次彦	
照明	高屋齋	
録音	武進	
制作プロダクション	ビーワイルド	
出演	ビートたけし Beat Takeshi 金俊平	

鈴木京香
新井浩文
田畑智子
オダギリジョー
松重豊
中村優子
唯野未歩子
濱田マリ
柏原収史
塩見三省
北村一輝
國村隼
寺島進
伊藤淳史
仁科貴
佐藤貢三
中村麻美

李英姬
金正雄
金花子
朴武
高信義
山梨清子
金春美
鳥谷定子
張賛明
大山（金成貴）
元山吉男
趙永生
朴希範
龍一／俊平の少年時代
金容洙
金泰洙
大谷早苗